

上関地点 平成23年度第4四半期の環境監視調査結果について

平成24年1月～3月までの調査の結果は、すべて環境基準や管理目標値などを満足している。また、陸生・海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要		
大気質		1月～3月 (連続測定)	環境基準に適合していた。 【調査期間中の各最大値】 ・二酸化硫黄:0.006ppm(日平均値), 0.012ppm(1時間値) ・二酸化窒素:0.015ppm(日平均値) ・浮遊粒子状物質:0.053mg/m ³ (日平均値), 0.070mg/m ³ (1時間値)		
騒音・振動		1月12日 2月22日 3月14日	管理目標値内であった。 ・騒音最大値:72dB ・振動最大値:30dB未満(振動レベル計の測定下限値)		
水質	海水の濁り	—	期間中、海域工事は実施していないため、測定を実施していない。		
	陸域工事排水の水質	1月18日 2月16日 3月21日	管理目標値内であった。 ・水素イオン濃度:6.7～6.9 ・浮遊物質濃度:3～6mg/L		
陸生生物	ハヤブサ	1月17日 2月14日 3月13, 27日	鼻線島において、1月にオス1個体、2・3月には雌雄各1個体の生息を確認した。		写真 1
	植生	—	春・夏に各1回ずつ調査をすることとしているため、第4四半期は調査を実施していない。		
海生生物	潮間帯生物	1月26, 27日	植物ではアマノリ属など42種、動物ではヒザラガイなど39種を確認した。		写真 2
	海藻草類	1月26, 27日	クロメやノコギリモク、サビ亜科など40種を確認した。		
	底生生物	1月26, 27日	ムラサキウニやアカウニなど6種を確認した。		
	スナメリ	3月 (週1回・計4日)	計31回、延べ96頭のスナメリを確認した。		
	カクメイ科等の貝類	2月6～8日	カクメイ科の貝類を1個体確認した。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、 tide プール2箇所のうち1箇所で調査を実施した。		写真 3

【参考】その他の環境調査

○カラスバト

1月～3月の調査の結果、計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻線島では各月で姿や鳴声を確認した。

○カンムリウミスズメ

1月～3月の調査の結果、1月に延べ4個体(天田島南西他)、3月に延べ36個体(長島西海域他)を確認した。(写真4)

【環境基準，管理目標値一覧】

項 目		環境基準または管理目標値
大気質	二酸化硫黄	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり，かつ，1時間値が0.1ppm以下
	二酸化窒素	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下
	浮遊粒子状物質	環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり，かつ，1時間値が0.20mg/m ³ 以下
騒 音		管理目標値：85dB 【参考】騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」を準用
振 動		管理目標値：75dB 【参考】振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」を準用
海水の濁り	浮遊物質	管理目標値：バックグラウンド+10mg/L以下
陸域工事排水	水素イオン濃度	管理目標値：5.0以上9.0以下
	浮遊物質	管理目標値：日平均150mg/L以下

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



オス(3月13日)



メス(3月27日)

写真2:海生生物(1月26, 27日)



アマリ属



クロメ



ムラサキウニ



ヒザラガイ



ノギリモク



アカウニ

写真3:カクメイ科の貝類



(2月7日 タイドプール)

写真4:カンムリウミスズメ



(1月30日, 天田島南)



(3月22日, 鼻繰島北西)